

学会長挨拶

2025 年度 日臨技九州支部医学検査学会（第 59 回）

学会長 門脇 和秀



2025 年度日臨技九州支部医学検査学会（第 59 回）開催にあたり、長崎県臨床検査技師会を代表いたしまして一言ご挨拶を申し上げます。

本学会は 2025 年 10 月 18 日（土）、19 日（日）の両日、長崎県大村市にありますシーハットおおむらにて開催いたします。メインテーマは「開け未来への扉」、サブテーマを「臨床検査の新たな価値を創造」としました。タスク・シフト/シェアをはじめとする医療現場における改革の中で、必要とされる臨床検査技師であるために何をすべきなのか。大規模災害が発生した際、臨床検査技師としてどのような形で貢献できるのか。医療 DX や AI とのかかわり方とは・・・未来に向けた課題や不安もありますが、従来の検査業務にとらわれず臨床検査および臨床検査技師の未来について考え、自ら行動するきっかけになるような学会にしたいと思っています。

本学会のメインとなる一般演題には 92 題のエントリーをいただきました。学会を開催するにあたり一般演題は最も重要です。今回多数のエントリーを頂きとても嬉しく思っています。また、本学会では文化講演・特別講演・教育講演を企画しました。超目玉文化講演として朝長万左男先生（長崎大学名誉教授）に「原爆 80 周年：人体影響サマリー」というテーマでご講演いただきます。今年は長崎に原爆が投下されて 80 周年の節目の年です。被爆地長崎においては 80 年の時を経ても消えることのない深い悲しみであり、その苦しみは被爆 2 世・3 世と続いている現状があります。自らが被爆者であり医師でもある朝長先生にこのタイミングでご講演いただき、この時間を共有することは私たちにとって貴重な体験になるものと思っています。特別講演は「ポンペ・ファン・メールデルフォールトによる日本初の近代臨床検査医学講義」というタイトルで相川忠臣先生（長崎大学名誉教授）にご講演いただきます。さらに教育講演は救急医療のトップリーダーである早川航一先生（長崎大学病院高度救命救急センター救急・国際医療支援室教授）に「救急医療の現状～働き方改革のなか高齢社会にどう取り組むのか？～」というテーマでご講演いただきます。いずれも興味深いテーマであり、魅力ある講演になるものと楽しみにしています。皆様ご期待ください。その他の企画として、基調講演、日臨技企画、学生フォーラム、各種シンポジウム、情報交換会などを計画しております。もちろん、企業展示もあります。39 社様にご協力いただきました。展示会場は広く 1 か所に集中していますので、ゆっくりご覧いただけるようになっています。

大村市は長崎県のほぼ中央に位置し長崎空港や西九州新幹線新大村駅があり、何といってもアクセスのしやすさがあります。足を延ばせば長崎市、手前には嬉野温泉など近隣の観光も楽しめますので、皆様お誘いあわせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。皆様とお会いできることを長臨技会員一同、心より楽しみにしております。